

東通原子力発電所1号炉審査資料	
資料番号	A1-CA-0083
提出年月日	2020年10月8日

東通原子力発電所 基準地震動の策定のうち  
海洋プレート内地震の地震動評価について  
(参考;先発プラントとの比較)

---

2020年10月8日  
東北電力株式会社

## 1. 地震の想定

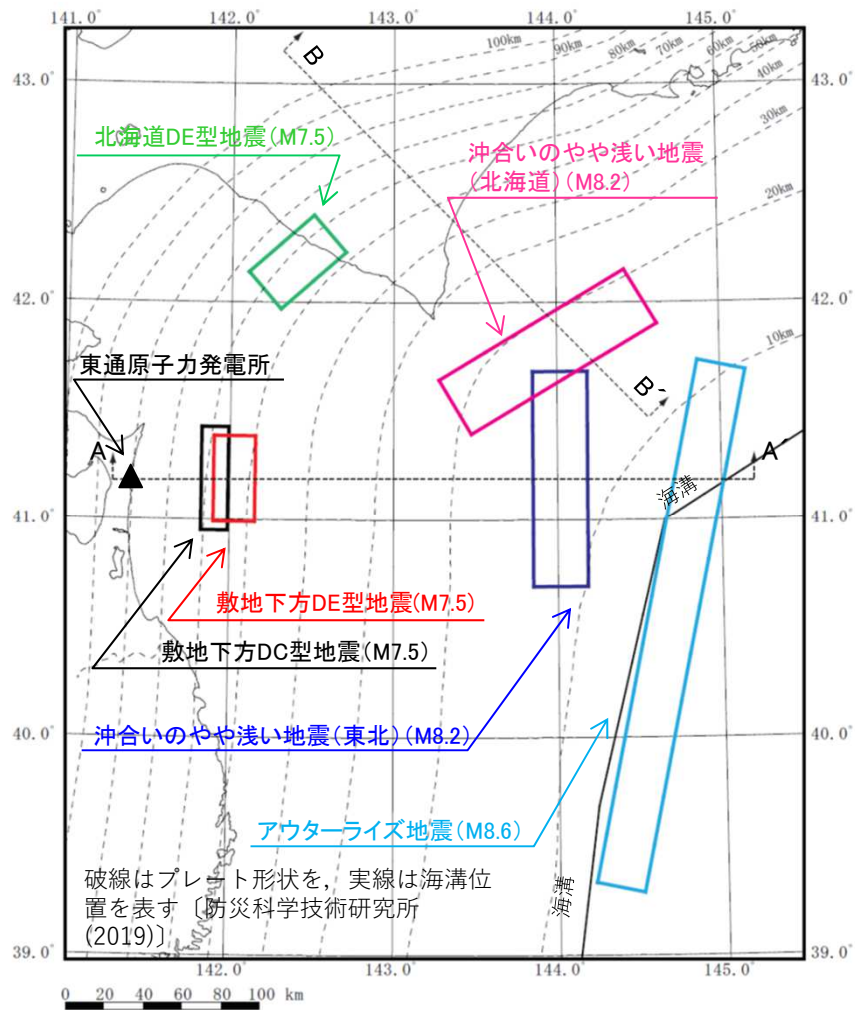
分類	地震タイプ	東 通	女 川	六ヶ所	む つ
検討用地震 の選定	二重深発地震上面の地震 (東北) 注5	・ M7.5 + 1.5As	同 左	・ M7.5 + 1.0As ・ M7.2 + 1.5As	・ M7.2 (As考慮せず)
	二重深発地震下面の地震 (東北)	・ M7.5 + 1.6As	同 左	・ M7.5 + 1.0As ・ M6.8 + 1.6As	・ M6.8 (As考慮せず)
	沖合いのやや浅い地震 (東北)	・ M8.2 + 1.0As	同 左	・ M7.5 + 1.0As ・ M7.3 + 1.5As	・ M7.3 (As考慮せず)
	沈み込む海洋プレート内 地震 (アウターライズ 地震)	・ M8.6 + 0.7As	同 左	(影響小)	(影響小)
	二重深発地震下面の地震 (北海道)	・ M7.5 + 2.1As	—	—	—
	沖合いのやや浅い地震 (北海道)	・ M8.2 + 2.0As	—	・ M8.2 + 1.0As (影響評価ケース)	・ M8.2 + 1.0As (影響評価ケース)
検討用地震 (二重深発地震 上面の地震 (東北))	基本ケース	・ M7.2 + マントル + 1.0As	M7.5 + マントル + 1.5As	・ M7.2 + マントル + 1.0As	同 左
	不確かさケース	・ M7.5 + マントル + 1.5As	同 上	・ M7.5 + マントル + 1.0As ・ M7.2 + マントル + 1.5As	同 左
		・ M7.5 + 海洋地殻 + 1.2As (参考ケース)	同 左 (不確かさケース)	・ M7.2 + 海洋地殻 + 1.0As	同 左

注1：検討用地震の選定欄には影響の大きいケースの地震諸元を記載 注2：想定場所は全て基本的には敷地至近  
 注3：「 $\alpha$ As」のAsは強震動予測レシビによる海洋プレート内地震の標準的な短周期レベル〔地震研究推進本部(2020)〕， $\alpha$ はその倍率  
 注4：表中の「+」は不確かさの組み合わせを示す 注5：六ヶ所の「M7.5」は「Mw7.4」を示す

## 2. 地震動評価

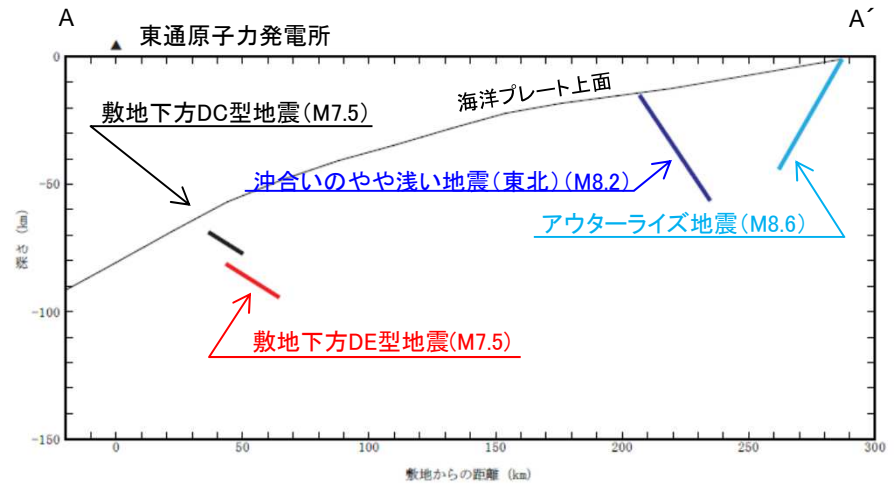
	東 通	女 川	六ヶ所 <sup>注6</sup>	む つ <sup>注6</sup>
検討対象地震の地震動評価	・ 断層モデルや簡易評価	同 左	・ 耐専 S <sub>p</sub> (Asの違い考慮)	・ 耐専 S <sub>p</sub> (標準)
検討用地震の地震動評価	・ 断層モデル (SGF) ・ 耐専 S <sub>p</sub> (残差考慮)	同 左	同 左	同 左

注6：沖合いのやや浅い地震（北海道）の影響評価ケースの地震動評価は、統計的グリーン関数法（SGF）

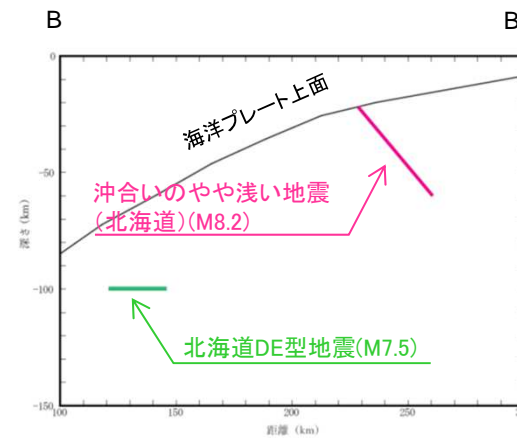


断層配置図(平面)

※想定する断層面のケースは、影響の大きいケースを記載した。



断層配置図(A-A'断面)



断層配置図(B-B'断面)

東通原子力発電所 地震タイプごとに想定する断層位置